

小学6年 社会 — 解答と解説

1

【例】 問 1									
氷	河	時	代	が	終	わ	り	、	海
面	が	上	昇	し	た	か	ら	。	

21 22 23

問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
ウ	ウ	エ	海 底	おうう (山脈)

24

25

26

27

28

問 7	問 8				
ア	フ	エ	ー	ン	現象が発生したから。

29

30

問 9	問10	問11	問12	問13	問14
エ	イ	エ	ア	エ	ア

31

32

33

34

35

36

問15	問16			問17
ウ	加	工	(貿易)	ア

37

38

39

【例】 問18
バスなどが廃止され、交通が不便になっている。

40 41 42

【例】 問19
少子高齢化がすすんだから。

43 44 45

2

問 1			
a	卑弥呼 (ひみこ)	b	聖徳太子 (しょうとくたいし)
c	聖武 (しょうむ)	天皇	
46		47	48

問 1			
d	藤原道長 (ふじわらのみちなが)	e	後鳥羽 (ごとば)
上皇	f	足利義満 (あしかがよしみつ)	
49		50	51

問 1	問 2	問 3
g	織田信長 (おだのぶなが)	ウ
	エ	
52	53	54

問 4		問 5	
公地公民制がくずれ、		2 番 目	ア
荘園制が成立した。		4 番 目	イ
55 56 57		58 (完答)	

問 6			問 7	
記 号	ア	機 関	六波羅探題	
59			60	
			勘合／勘合符	
			61	

問 8				問 9			
15	億	2280	万円	I	F	II	E
62				63	64		

(配点)

① 問 1・問 18・問 19 ② 問 4 各 6 点

② 問 8 4 点 ② 問 1・問 5・問 6 (機関)・問 7 各 3 点

上記以外 各 2 点 計 100 点

【解 説】

1

問1 B2 特徴的な部分に注目する 推論 理由

約200万年前から約1万年前までの期間を「更新世（こうしんせい 洪積世）こうせきせい）」といい、地球上に広く氷河が発達していた氷河時代でした（この間、4回の氷期と3回の間氷期がくり返されました）。最後の氷期である「ウルム氷期」では、海面が現在より140メートル以上も低かったといわれています（問題の図を参照してください。なお、朝鮮海峡ちょうせんかいきょうと津軽海峡つがるは、海だったとする説と陸だったとする説があります）。約1万年前に更新世が終わり、氷河が後退する「完新世（こうたい 沖積世）ちゅうせきせい）」となったため、氷河がとけて海水が増加し、海面の上昇をもたらしたのです。日本が大陸から切り離されたのはこのためですので、このことが解答となります。

なお、更新世の日本はアジア大陸と陸続きだったため、ナウマンゾウやオオツノジカ（大角鹿）といった大型動物が移り住んだほか、北海道にはマンモスがあり、大阪にもスギヤマゾウなどの象やマチカネワニなどの鱷わにもいました。また、このころ、日本海は湖だったと考えられています。

問2 B1 具体・抽象 比較

問題文中の縮尺がヒントになります。分母の数字が大きいほど地図上では広い範囲はんいをあらわすことができるので、アは2700万分の1、イは1600万分の1、エは700万分の1の縮尺であることがわかり、残ったウが解答（1200万分の1）であると判断できます。

なお、問3の表で示したように、四国の面積は18297km²、九州は36782km²、北海道は77984km²、本州は227942km²ですので、九州は四国のおよそ2倍、北海道はおよそ4倍、本州はおよそ12倍であることがわかります。

問3 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 比較

表に佐渡島（選択肢：エ）と対馬（同：ア）が出ているので、選択肢イの淡路島あわじしまとウの沖縄島のどちらが大きいかで迷われたのではないのでしょうか。地図帳では淡路島は近畿地方などに大きく出ていますが、沖縄島は九州地方の一部に出ていることが多いので、実際の大きさをつかむのが難しいといえます。四大島と北方領土をのぞいて最大の面積をもつ島は、沖縄島であることをおさえておきましょう。

なお、面積第11位は淡路島、12位は天草下島、13位は屋久島やくしま、14位は種子島、15位は福江島ふくえじま（長崎県の五島列島）の順となっています。

問4 B1 具体・抽象 比較

ア：「県の南東部に面する」が誤りです。有明海は福岡県の南西部に面しており、南東部は大分県と接しています。

イ：「地元で産出される鉄鉱石」と「鉄鋼業の製造品出荷額は日本一」が誤りです。八幡製鉄所では中国からの輸入鉄鉱石が使用されました（石炭は、地元の筑豊炭田で産出されたものを使用しました）。また、2018年の鉄鋼業の製造品出荷額第1位は愛知県、第2位は兵

庫県、第3位は千葉県で、福岡県は第7位となっています。なお、「八幡製鉄所」は、2020年4月1日より「九州製鉄所八幡地区」に名が変更されました。

ウ：「陶磁器の生産で知られる伊万里市」が誤りです。伊万里市は陶磁器（伊万里焼）の生産で知られていますが、佐賀県の都市です。

問5 A1 知識

排他的経済水域とは沿岸から200海里までの水域をいい、沿岸国に漁業権だけではなく、海底資源（鉱産資源、地下資源など）を採掘する権利等を認めています。

領海や沿岸諸国の排他的経済水域の設定・大陸棚開発など、海洋をめぐる国際問題を解決するために国際連合で開かれた会議（国連海洋法会議）において、1982年（昭和57年）、「国連海洋法条約」が採択されました（発効は1994年）。「海の憲法」とも呼ばれるこの条約により、世界の海は領海12海里、排他的経済水域200海里、その外側で、いずれの国にも属さない公海に区分されました。なお、日本は海洋の漁業利用を独占する「200海里漁業専管水域」を、1977年（昭和52年）に設定しています。

問6 A1 知識

うっかり「おお（山脈）」と書かないように注意しましょう。八幡平は奥羽山脈北部に位置する山々の総称で、高原には多数の沼や湿地がみられ、1956年（昭和31年）に「十和田八幡平国立公園」に指定されました。

奥羽山脈は東北地方中央部を南北に走る約500kmの山脈で、山脈の東側には北上高地や北上盆地、仙台平野、福島盆地、郡山盆地などが、西側には出羽山地や横手盆地、新庄盆地、山形盆地、米沢盆地、会津盆地などがみられます。

問7 B1 特徴的な部分に注目する 比較

東京の年平均気温は15.4度、降水量は1528.8mmです。このおおよその数字は、日本の気候の基準として頭に入れておきましょう。雨温図は選択肢の「ア」で、春の菜種梅雨や初夏の梅雨、夏の湿った季節風による降雨、秋雨、台風などの影響によって、3月～10月にかけて降水量が多くなる特徴があります。

雨温図のイは高田（新潟県上越市）で、冬の期間の降水量が多い（豪雪地帯）特徴があり、ウの高松は山地（中国山地・四国山地）に南北をはさまれているため温暖で降水量の少ない特徴があり、エの松本は中央高地に位置するため1月の平均気温がマイナスとなり、降水量も少ない特徴があります。

問8 A2 理由

フェーンとはもともと、ヨーロッパのアルプス地方で山地から吹き下ろす、高温で乾燥した風のことをいいました。湿った風が山地斜面を上昇する際には気温が低下し、山頂付近では大気中の水分が結露して雨や雪となりますが、山地を越えた乾いた風が斜面を下降する際には気温が上

昇します（これを「フェーン現象」といいます）。山形市で最高気温を記録したときは太平洋高気圧におおわれており、時計回りに吹いた風が飯豊山地を越えて吹き込んだために気温が上昇したのです。昨年（2020年）8月の浜松市の高温も、原因はこの現象にありました。

問9 A2 置き換え

日本三大急流は、九州山地南部から人吉盆地（ひとよし）を通して八代海（やつしろ）にそそぐ「球磨川（地図中のB）」、山形県南東部から米沢盆地・山形盆地・新庄盆地（しんじょう）を通して庄内平野中部から日本海にそそぐ「最上川（同・D）」、甲府盆地から富士山の西側に南に流れ、駿河湾にそそぐ「富士川」をいいます。球磨川と最上川は流域面積がそれほど広くないため、降った雨が一気に川に流れ込み、急流ということもあって、大きな被害が出てしまったと考えられます。

なお、Aは筑後川（問4の選択肢アの「筑紫次郎」と呼ばれている河川）、Cは長さ第5位、流域面積第4位の「北上川」を、それぞれあらわしています。

問10 A2 比較

2019年産の米の都道府県別収穫量を多い順に挙げると、新潟県、北海道、秋田県、山形県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、青森県、岩手県、富山県、長野県、兵庫県、滋賀県、熊本県、福岡県となります。このことから、米の生産がもっとも多い（表中の空らんⅠ）のは東北地方、第3位（空らんⅡ）が北陸地方、第5位（空らんⅢ）が北海道地方であることがわかるのではないのでしょうか。北海道は都道府県別では第2位ですが、地方別では第5位となります。

問11 A2 比較

2018年産の野菜の生産量は、多かった順に、きゃべつ（1467千t）、だいこん（1328千t）、たまねぎ（1155千t）、はくさい（889.9千t）、トマト（724.2千t）でした。きゃべつ（選択肢：エ）は群馬県の嬬恋村での生産が知られており（高原きゃべつ）、嬬恋村には東京ドーム約640個分のきゃべつ畑が広がっています。

なお、アはだいこん（第5位の神奈川県は、三浦（みうら）だいで知られています）、イははくさい（きゃべつと同じように、大都市の近郊や高冷地での栽培がさかんです）、ウはたまねぎ（第3位の兵庫県は、淡路島での生産が知られています）の生産を、それぞれあらわしています。

問12 A2 置き換え 比較

2018年の肉類供給量は、鶏肉が175万t、豚肉が163万t、牛肉が82万tで、国民一人あたり年間13.8kgの鶏肉、12.9kgの豚肉、6.5kgの牛肉を食べている計算になります。

※畜産業では、家畜の飼育頭数にも注意をしておきましょう（小数点以下四捨五入）。

乳用牛：1位は北海道（60%）、2位は栃木県（4%）、3位は熊本県（3%）。

肉用牛：1位は北海道（21%）、2位は鹿児島県（14%）、3位は宮崎県（10%）。

豚：1位は鹿児島県（14%）、2位は宮崎県（9%）、3位は北海道（8%）。

採卵鶏：1位は茨城県（8%）、2位は千葉県（7%）、3位は鹿児島県（6%）。

肉用若鶏（ブロイラー）：1位は宮崎県（20%）、2位は鹿児島県（20%）、3位は岩手県（16%）。

問13 B1 置き換え

いわし（選択肢：エ）はスーパーなどで塩焼き用等にこの姿のまま売られていることがありますので、注意してみてください。漁獲量は多い順に、茨城県、長崎県、三重県となっています。なお、「シラス干し」のシラスの多くは、カタクチイワシの幼魚です。

選択肢「ア」はかつお（漁獲量は、静岡県、東京都、宮城県の順）、「イ」はさんま（漁獲量は、北海道、宮城県、岩手県の順）、「ウ」はさけ（漁獲量は、北海道、岩手県、青森県の順。なお、小さいのは「ます」とも呼ばれます）をそれぞれあらわしています。

問14 B1 具体・抽象 比較

一次エネルギーの中心は石油（グラフのB）ですが、1970年代の2度の石油危機（オイルショック）によってエネルギー源の多様化がはかられ、原子力や石炭（グラフのA）、天然ガス（同・C）の導入がすすめられました。その結果、一次エネルギーの国内供給に占める石油の割合は年々減少しましたが、2011年の福島第一原子力発電所の重大事故以降、原子力ではなく、石炭と天然ガスへの依存度が大きくなりました。しかし、2016年に発効した「パリ協定」で、日本は二酸化炭素などの「温室効果ガス」の排出量を2030年までに2013年比で26%削減の目標をかかげたこともあり、エネルギー政策の大幅な見直しが迫られたのです。

昨年（2020年）10月、菅首相は「温室効果ガスの排出量を、2050年までに実質ゼロにする」という目標を打ち出しました。世界約120か国が「2050年実質ゼロ」を掲げているので、日本もやっとそういった国々に追いつきつつある、といっているでしょう。新たな目標の達成に向け、次世代型太陽電池や二酸化炭素を再利用する「カーボンリサイクル」などの技術開発、多量の温室効果ガスを排出する石炭火力発電の見直しをふくめた脱炭素社会の構築などが進められようとしています。

問15 A2 置き換え

再生可能エネルギーの代表例には、風力発電と太陽光発電があります。2018年の発電電力量をみると、太陽光発電が185億kWh、風力発電が65億kWhとなっており、太陽光発電の方が多いことがわかります（ちなみに、火力発電は8236億kWh、水力発電は874億kWh、原子力発電は621億kWhです）。

写真が撮影されたのは青森県津軽半島北端の龍飛崎（竜飛崎、龍飛岬）で、ここは海から一日中強い風が吹き付けるため、それを利用する風力発電が行われるようになりました。なお、アの宗谷岬は北海道の最北端（日本の本土最北端）、イの青森県大間崎は下北半島最北端（本州最北端：マグロの一本釣りで有名）、エの千葉県犬吠埼は関東地方最東端で利根川の河口付近に位置しており、日本一早い初日の出が見られることで知られています。

問16 A1 知識

原材料や燃料を輸入し、それらを製品や半製品^{はんせいひん}に加工して輸出する貿易を「加工貿易」といい、資源には恵まれていませんが、技術水準^{すいじゆん}が高く、豊富な労働力をもつ国（日本やドイツなど）にみられます。なお、輸入した製品を一時的に保管したり、加工してから再輸出^{さいゆしゅつ}する貿易を「中継貿易^{ちゆうけい}」といい、保管料^{ほかんりよう}や加工料^{かくりよう}などの収入を得ています（シンガポールが中継貿易国として知られています）。

現在（2019年）の日本の輸入品目は、機械類、石油（原油、石油製品）、液化ガス^{えきか}、衣類、医薬品の順で、輸出品目は機械類、自動車、自動車部品^{じしやつりよく}、鉄鋼、プラスチックの順となっており、加工貿易の型がまだ残っていることや、日本の高い技術力を生かした機械工業製品が輸出の中心となっている（輸出品目の約60%が機械工業製品）ことがわかります。

問17 B1 具体・抽象 比較

I：2000年の国内生産台数は10141千台、海外生産台数は6288千台ですが、2010年の国内生産台数は9629千台、海外生産台数は13182千台となり、2019年には国内生産台数が9684千台であるのに対し、海外生産台数は2倍近い18853千台となっているので、この文が正しいことがわかります。

II：海外生産台数は、2000年が6288千台、2010年が13182千台、2019年が18853千台ですので、増え続けていることがわかります。

また、2000年に比べて2019年の生産台数はおよそ3倍（2.99倍）となっており、特にアジア地域での生産の伸びが大きく、2000年（1674千台）に比べて2019年（10850千台）は6倍以上の増加（6.48倍）となっているので、この文も正しいことがわかります。

なお、2000年に比べて2019年の生産台数は、北アメリカ地域がおよそ1.5倍、ヨーロッパ地域はおよそ1.7倍の増加となっています。

問18 B1 具体・抽象 理由

解答はほかに「学校が統廃合^{とうはいごう}され、通学が不便になっている」「病院や保健所^{ほけんじょ}などが統廃合され、生活が不便になっている」「デパートやスーパーマーケットなどが撤退し、生活が不便になっている」などが挙げられます。

東京への一極集中がすすむ理由として、働く場所が多いこと（雇用があること^{こよう}）や賃金^{ちんぎん}が高いこと、生活の利便性^{りべんせい}に優れていること、などが挙げられます。これに対し、地方では人口が減少する過疎^{かそ}の問題（公共交通機関の廃止、病院や学校などの統廃合、人口減にともなう税収^{ぜいしゅう}の減少、少子高齢化の進行など）を抱えるようになったのです。

そこで政府は、地方の魅力^{みりょく}を高めて雇用（働く場所）を生み出す「地方創生^{そうせい}」政策や、働く場所・時間の自由度^{さいうど}を高める「働き方改革^{かいかく}」を推進^{おすす}めることにより、人口のかたよりをなくそうとしています。

最近^{さいきん}は、転入者に補助金^{ほじょきん}を出したり、子どもの医療費^{いりょうひ}を無料にしたりする地方自治体もみられ

るようになりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によって働き方が変化した（出社せず、リモートで行うなど）ことにより、東京を離れて地方に移り住む人も増えています。

問19 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 理由

人口ピラミッドは、多くの場合、多産多死の「富士山型」から少産少死の「つりがね型」、さらに出生率が低下した「つぼ型」へと移行します。近年の日本は、少子高齢化がすすんだ「逆ひょうたん型」と呼ばれる型となっています。

戦後の日本では、1947～1949年（昭和22～24年）にかけて出生数が大きく増加した「第一次ベビーブーム（団塊の世代）」以降、人口は急速に増加していき、1967年（昭和42年）には1億人を突破しました。続いて1971～1974年（昭和46～49年）にかけて「第二次ベビーブーム（団塊ジュニア世代）」が起りましたが、高度経済成長期に入ったため若者が地方から都市へと移動していき、核家族（父母と子どもだけの家族）が増えたことや結婚・出産に関する意識が変化したことなどから、その後は出生数が減り、少子化が進行しました。また、少子化とともに高齢化も進行し、高齢者（65歳以上）の数は1997年（平成9年）に初めて子ども（0～14歳）の数を上回り、2020年には高齢者の割合が過去最高の28.7%を占めるようになりました。

このように高齢化が進む一方、2019年の出生数は統計が残る1899年（明治32年）以降で最少の86.5万人で、同年の死亡者数は138.1万人だったため、およそ50万人の人口減少となりました。2019年の出生率（合計特殊出生率）は1.36で、人口の維持に必要とされる2.07を大きく下回っています。

人口ピラミッドの変化と以上のことから、日本が人口減少社会となった理由は「少子高齢化が進んだ」ことにありと理解できたのではないのでしょうか。今後も少子高齢化は進んでいくと見られますので、社会保障費の増大などがますます大きな問題となっていくでしょう。

2

※ Aの文は弥生時代、Bは飛鳥時代、Cは奈良時代、Dは平安時代、Eは鎌倉時代、Fは室町時代、Gは安土桃山時代の出来事について、それぞれ述べています。

問1 A1 知識

a：卑弥呼は邪馬台国の女王ではなく、30ほどの国々で構成された「倭国」の女王であり、邪馬台国は卑弥呼が暮らした王宮のあった場所である、とする学者もいます。邪馬台国の位置については、大きく畿内説（有力な遺跡は奈良県の纏向遺跡）と九州説（有力な遺跡は佐賀県の吉野ヶ里遺跡）の2説があります。

b：馬小屋の前で生まれた、一度に十人の人の意見を聞き分けた、などの伝説がある聖徳太子（厩戸皇子）は、実在を疑う学者もいます（後世に創作された人物である、とする説）。また、かつて紙幣の肖像に使用された聖徳太子像は、その冠や着衣から奈良時代のものであることが推定されており、現在は「伝・聖徳太子像」とされています。

c：聖武天皇は大寶律令の編纂を刑部親王や藤原不比等らに命じた文武天皇の子で、深く仏教を信仰し、諸国に国分寺と国分尼寺、都には総国分寺として東大寺を建立しました。天平文化の最盛期の人物で、その遺品は東大寺境内にある校倉造の「正倉院（総ヒノキ造）」に収められています。

d：藤原道長は、999年に娘の彰子を一条天皇に嫁がせて以降、次々に娘を天皇の后にして権勢をふるい、1016年に摂政、翌年には太政大臣となりました。「源氏物語」作者の紫式部を保護したといわれ、日記の「御堂関白記」は、2013年（平成25年）にユネスコの「世界記憶遺産」に登録されました。

なお、子の藤原頼通も父と同じように権勢をふるい、宇治に平等院鳳凰堂（建物は十円硬貨の表の図柄になっており、屋根の鳳凰像は一万円紙幣の裏の図柄に使用されています）を建立しました。

e：後鳥羽上皇は1219年に鎌倉幕府3代将軍の源実朝が暗殺され、源氏の将軍が途絶えたという幕府の動揺をとらえて1221年に2代執権の北条義時を朝廷の敵（朝敵）として挙兵しました（承久の乱）が、敗れて隠岐に流され、そこで亡くなりました。後鳥羽上皇は歌人としても優れ、藤原定家らに「新古今和歌集」の編集を命じました。

f：室町幕府3代将軍の足利義満は、有力守護大名をおさえて幕府権力を確立し、南北朝の合一や日明貿易（勘合貿易）などを実現しました。第100代の後小松天皇の即位を後押しし、天皇が上皇となって院政を行ったときは、義満の意向が大きく反映されていたようです。

g：織田信長は1560年に尾張の桶狭間（田楽狭間・現・名古屋市）で2万5千の今川軍本営を3千の兵をもって奇襲して勝利して以降、「天下布武（天下を武力でおさえる）」の印章を用いて統一事業をすすめて、1570年の姉川の戦いで浅井・朝倉連合軍をやぶり、翌年には古代寺社勢力の最大拠点だった比叡山延暦寺を焼き討ちし、2年後の1573年には室町幕府15代将軍の足利義昭を京都から追放して室町幕府を滅亡させ、1575年には長篠の戦いで武田勝頼軍をやぶり、翌年には初の近世的城郭である安土城を築き、1580年には一向宗の中心寺院だった石山本願寺と講和を結ぶなどしましたが、天下統一を目前にした1582年、本能寺にいたところを家臣の明智光秀に襲われ、自害しました。

※NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀については史料が乏しくわからないことも多いのですが、織田信長に仕え、足利義昭や公家・寺社などとの交渉役として活躍したようです。しかし、1582年の中国攻め（毛利攻め）に出陣する際、兵を反対の京都に向け、本能寺にいた織田信長を襲って自刃に追い込みました（本能寺の変：6月2日）。その知らせを受けた羽柴（豊臣）秀吉は、中国攻めで陣を敷いていた岡山から急いで京都にもどり（中国大返し）6月13日、山崎の戦いで明智軍をやぶりました。

問2 B1 具体・抽象 比較

I：「打製石器」が誤りです。打製石器は旧石器時代（群馬県の「岩宿遺跡」が代表的な遺跡）に使用され、縄文時代からは磨製石器が使われるようになりました。石包丁は半円形の石器で、持ちやすいようにヒモを通すため、ふつう、2個の穴が開いています。

II：正しい内容です。争いがおこったことは、環濠集落がみられたほか、首のない骨や矢尻が刺さった骨が発掘されていることなどからわかります。また、中国の歴史書（後漢書東夷伝、魏志倭人伝）にも「倭国の騒乱」の記述がみられます。

問3 A2 比較

エ：国風文化ではなく「飛鳥文化」です。飛鳥文化は推古天皇のころを中心とする文化で、奈良県斑鳩の法隆寺に代表的な遺構や遺品が多く残されています。

国風文化は平安時代、摂関政治の全盛期（Dの文）を中心とする文化で、かな文字の発達により「源氏物語」や「枕草子（作者：清少納言）」などの女流文学のほか、「土佐日記（作者：紀貫之）」やかぐや姫で知られる「竹取物語（作者不詳）」など、多くの文学作品が作られました。

なお、飛鳥文化のすぐあと（7世紀半ば～8世紀初め）の「白鳳文化」、聖武天皇のころを中心（Cの文）とする「天平文化」もおさえておきましょう。

※ア：603年に制定された冠位十二階は、役人の階級を「徳・仁・礼・信・義・智」の6種とし、それぞれを大小に分けて12階とし、色別の冠を授けた政策をいいます。それまで血筋による世襲（代々受け継いでいくこと）だった氏姓制度を打破し、優秀な人材を登用することを目的としていました。

イ：現在の憲法（日本国憲法）は国の政治の根本的なあり方（原理）や仕組みを定めた法で「国の基本法」ともいわれていますが、604年に制定された「憲法十七条（十七条憲法）」は、役人が守るべき心構えとして出されました。

ウ：遣隋使は、聖徳太子（厩戸皇子）が600年（確実ではありません）、607年、608年、614年に派遣しました。607年には小野妹子が「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で知られる対等外交の国書を持参（隋の皇帝・煬帝が「無礼な内容だ」と怒ったことで知られています）」し、翌年にはやはり妹子が「東の天皇、つつしみて西の皇帝に申し上げます」という内容の国書を持参しました。

なお、614年には犬上御田鍬（第1回「遣唐使」として有名）が遣隋使として派遣されています。

問4 B2 順序立てて筋道をとらえる 比較 具体・抽象

「公地制→荘園」の流れがポイントになります。律令制度のもとで、6歳以上の男女に口分田^{くふんでん}を支給する「班田收授法^{はんてんしゅうじゅうのほう}」が制定されましたが、税^{ぜい}や労役^{ろうえき}、兵役などに苦しんだ農民^{へいえき}（特に男性）は田畑^すを捨てて逃亡^{とうぼう}するようになり、土地が荒れてしまいました。そこで元正天皇は723年に「三世一身法^{さんぜいっしんのほう}」を出し、条件付きながら土地の私有^{じょうけん}を認めたのですが、あまり効果がなかったため、743年、聖武天皇は開墾^{かいこん}した土地の永久私有^{えいきゅう}を認める「墾田永世（永年）私財法^{げんしやう}」を発布したのです。これによって財力のあった貴族や寺社は開墾^{ざいりよく}をすすめ、私有地である「荘園」が成立しました。

問5 A2 分類

アは894年（9世紀）、イは1086年（11世紀）、ウは794年（8世紀）、エは1185年（12世紀）、オは939年（10世紀：承平・天慶^{じょうへい てんきやう}の乱：935～941年）の出来事です。したがって、古い順に並べかえると【ウ→ア→オ→イ→エ】となります。

年号を暗記する前に、まずは「何世紀の出来事か」をおさえるようにしましょう。

問6 A1 知識

承久の乱がおこったとき、朝廷の敵（朝敵）となって動揺する御家人^{ごけにん}に対して北条政子（源頼朝^{みなもと}の妻・北条義時の姉）が行った「鎌倉に幕府を開いた源頼朝^{どの おん}の恩^{おん}は山よりも高く、海よりも深いはずです。今こそ、その恩に報いる時なのです」という内容の演説^{えんぜつ}は知られています。

乱の後、京都には朝廷を監視するとともに三河国（愛知県東部）以西の西日本の御家人^{ごけにん}を統轄^{とうかつ}する（まとめる）機関である「六波羅探題」が置かれました。

なお、「管領」は室町幕府に置かれた将軍^{しょうぐん}を補佐する役職、3代執権の北条泰時は1232年に日本初の武家法である「御成敗式目（貞永式目）」を制定したことで知られています。

問7 A1 知識

「勘合（勘合符）」とは、日明貿易を行うときに使用された合札^{かんごう}をいいます。この当時は朝鮮や中国沿岸で略奪行為を行う「倭寇^{わこう}」と呼ばれる武装集団^{ぶそうしゅうだん}がいたため、幕府の正式な貿易船と倭寇とを区別するために「勘合」という合札が使われたのです。

なお、日明貿易（勘合貿易）は足利義満が1404年に開始し、日本からは刀剣や銅、硫黄^{とうけん どう いおう}などを輸出し、明からは銅銭^{どうせん}や生糸^{きいと}、綿糸^{めんし}などを輸入しました。

問8 B1 置き換え 再現する

鉄砲は1挺50万円ですので3000挺で15億円となり、兵士一人あたりの食費は600円（米6合）ですので、3万8千人で2280万円となります。巨額^{きやうがく}な戦費ですが、但馬^{たじま}（兵庫県北部）の生野銀山^{いくの しやうぎんざん}をおもな収入源としていたようです。

織田信長は新兵器の鉄砲に目をつけ、桶狭間の戦いの後、すぐに500挺の鉄砲を発注しました。鉄砲は1543年に種子島に伝来して以降、九州や堺（大阪府）、紀伊国（和歌山県）の根来、近江

国（滋賀県）の国友^{くにとも}などで製造され、普及^{ふきゅう}しました。

問9 B1 具体・抽象 関係づけ

I：1428年におこった「正長の土一揆^{しょうちゅうどいつき}」についての史料です（したがって、Fの時代）。「正長」という元号と「土倉」から、室町時代と判断できたのではないのでしょうか。近江国の馬借^{ばしゃく}（馬による運送業者）が「徳政（借金^{いとな}の帳消し）」を求めて蜂起したのをきっかけとして畿内^{きん}一帯に広がり、高利貸^{こうりが}しを営んでいた酒屋や土倉、寺院などを破壊し、幕府と抗争^{こうそう}しましたが、管領^{はたけやま}の畠山満家がこれを取り締まりました。

※1485年に現在の京都府南部でおこった「山城の国一揆^{いっき}」、1488年に現在の石川県南部でおこった「加賀の一向一揆^{いっこういっき}」もおさえておきましょう。

II：1275年に紀伊国の阿氏河莊上村^{あてがわのしょう}の農民（莊園の農民）が、地頭の湯浅氏の非道^{ひどう}（ひどい行い）を13か条にわたって訴えた史料です（したがって、Eの時代）。西暦年はわからなくても、「地頭」の横暴^{おうぼう}で鎌倉時代の出来事と判断できたのではないのでしょうか。原文はたどたどしいひらがなですが、この史料から、生産力の発展をになった農民たちが政治意識を向上させ、領主（地頭）の不当な支配^{しはい}に対して抵抗^{ていこう}を試みていたことがわかります。

（記述問題の採点について）

- ・ 解答の字数制限に従っていない場合… 不正解
- ・ 明らかな誤字・脱字がある場合… - 1点

